

月報

フルードパワー

No. 275 2022. 5. 31

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
TEL. 03-3433-5391 FAX. 03-3434-3354
西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋1-1
ダイキン工業㈱ 油機事業部企画部
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865

第23回定時総会開催される

第23回定時総会が5月19日（木）15時30分～16時05分までの間、東京プリンスホテル「サンフラワーホール」において開催された。

はじめに、定款第15条の定めるところにより、安藤会長が議長席につき、一般社団法人日本フルードパワー工業会第23回定時総会を宣言した。

議長から本総会の出席状況について事務局より説明するよう要請があり、事務局は、本総会には正会員総数60社に対し、出席会員企業が31社、委任状提出会員企業が28社となっており、定款第17条に定めるところの過半数に達していることから、第23回定時総会は有効に成立している旨の報告をした。

審議に入る前に、議長から定款第19条により次の2名の議事録署名人の指名があった。

神威産業株式会社 十万社長
株式会社マツイ 松井社長



第23回定時総会（東京プリンスホテル）

（1）第1号議案 2021年度事業報告書及び決算報告書（案）に関する件
議長は第1号議案を審議する旨議場に告げ、事務局に説明を求めた。

事務局は「資料1号」に基づき、需要対策事業、国際交流事業、標準化事業、技術調査事業、広報・

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第23回定時総会開催 · · · · · 1

委員会開催・活動状況

標準化事業 · · · · ·	5	今後の主要行事日程 · · · · ·	9
技術調査事業 · · · · ·	6		
国際交流事業 · · · · ·	6		
その他事業 · · · · ·	6		

P R 事業、中小企業関連事業、振興対策・P L 対策・その他事業の重点事業を主体に事業報告を行った。

次に、これらの事業の実施に伴う予算の執行状況等決算報告書（案）について、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書等を基に、コロナ禍で会員の年会費を25%減にしたが、海外出張や会議室利用が激減したこと、事業活動収支差額が40万円弱のプラスに収まったことを説明した。

次いで、議長は監事による監査報告を求め向監事から「適正である」旨の監査報告があった。議長は第1号議案を議場に諮ったところ、全員異議なく原案の通りこれを承認可決した。

（2）第2号議案 2022年度事業計画書及び予算書に関する件

議長は第2号議案を審議する旨議場に告げ、事務局に説明を求めた。

事務局は「資料2号」に基づき、工業会としては、2022年度予算に関する会費を例年通りに戻させていただくが、人員削減、WEBを活用した効率的な会議の推進など、業務の見直し・効率化も視野に、デジタル社会への対応や若手技術者の育成事業など、従来以上の業務を行う事業計画・予算を立て、これを会員中心での委員会や部会・分科会活動主体で実施していく旨を説明した。

次に、これら事業の実施に伴う予算書について説明した。収入の部では、2022年4月1日に2022年度小型自動車等機械工業振興事業に関する補助金交付決定通知が届いたので、フルードパワーの国際競争力に資する標準化の推進を今年度も進めることを報告した。支出の部では、事業計画でも説明した通り、アフターコロナに対応した活動を推進する計画なので、事業活動収支差額は、1900万円弱のマイナスになることの理解を求めた議長は第2号議案を議場に諮ったところ、全員異議なく原案の通りこれを承認可決した。

（3）第3号議案 理事・監事改選（案）に関する件

議長は第3号議案を審議する旨議場に告げ、事務局に説明を求めた。

事務局は「資料3号」に基づき、今回は2年に1度の改選の時期であり、28名の理事及び2名の監事は全員重任である旨を説明した議長は第3号議案を議場に諮ったところ全員異議なく原案の通りこれを承認可決した。

以上をもって、すべての審議が終了、議長は閉会を宣言して、第23回定時総会は16時05分に終了した。

臨時理事会の開催

第23回定時総会で理事・監事の改選が行われたことから、新理事、監事は、場所を「ゴールデンカップ」に移動し、新役員を決める臨時理事会を開催した。初めに、事務局より「本総会において新理事・新監事が選任されましたので、定款第31条の規定に基づく臨時理事会を開催させていただきます」旨の発言があった。続いて、「第23回定時総会で選任された理事総数28名に対し、本理事会には理事の出席が21名、監事2名の出席があり、本理事会が有効に成立している」旨を報告し、議長を安藤毅理事（前会長）にお願いし、これを受け、安藤毅議長は臨時理事会の開会を宣言した。安藤毅議長は、2022年度2023年度役員改選に関する件の説明を求め、会長、副会長、西日本支部長、専務理事の改選（案）を説明し、次いで、議長はこれを議場に諮り全員異議なく可決した。安藤毅議長は、梶本新会長が選任されたため、議長の交代を告げた。

梶本新議長は、これをもって臨時理事会が終了したことを宣言し、16時20分に本臨時理事会を閉会した。

新役員は以下の通り決定した。

会長	梶本一典	CKD(株) 代表取締役会長
副会長	丸山進	SMC(株) 取締役執行役員
〃	十万幹雄	神威産業(株) 代表取締役社長
〃	嶋村英彦	川崎重工業(株) 専務執行役員
〃	中島康輔	カヤバ(株) 代表取締役会長
〃	丸岡秀樹	ダイキン工業(株) 執行役員
専務理事	藤原達也	日本フルードパワー工業会

定時総会後の懇親会の開催

17:00から2Fの「マグノリアホール」に場所を移し懇親会を開催した。はじめに梶本新会長が開会の挨拶を行った後に来賓を代表して経済産業省製造産業局担当の福永哲郎審議官よりご挨拶をいただき、懇親会が始まった。会場内は、新型コロナ感染防止のために、懇談スペースと飲食スペースを別けてを行い、会員企業をはじめ学会、報道関係の方々の多数の方が参集し懇親を深められ、18:40頃に散会した。

※梶本新会長の挨拶

只今、ご紹介にあずかりました。先の理事会で安藤会長の後任として会長に選任されましたCKD 株式会社会長の梶本でございます。本日は、

コロナ禍の中、ご多忙にも拘りませず、この懇親会に、会員各社の皆様方を始め、経済産業省、報道関係、学会関係者等、多くのご来賓にご参加を賜り、厚く御礼申し上げます。思い起こせば、8年前の2014年の総会で、同じく東京計器㈱の当時脇会長の後、会長としてこの場でご挨拶させていただいたことを思い出します。二度目の会長職ではありますが、職務を全うすべく最大限努力いたしますので、皆様方の絶大なるご支援ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨今の経済環境についてお話をいたします。「2022年・年度油圧・空気圧機器の需要見通し」を皆様にお配りさせていただいております。その中にもありますように、昨年度は、新型コロナの世界的蔓延による景気後退からの急回復で、出荷額は、油圧は対前年度比約18%増、空気圧は約35%増となり、合計約9,800億円となり、史上最高となりました。今年度は、この業績を足場に約5%程度伸び、1億円を超すと見ております。しかしながら、皆様方よくご存じの通り、二月末に始まったロシアのウクライナ侵攻を源とする



挨拶をする梶本新会長

エネルギーや希少金属の高騰、そして中国特に上海のロックダウンによる工場停止や物流の混乱などから、大きなマイナス要因になるのではないかと危惧しております。加えて、最近の円安基調は、特に中小企業にとって厳しい環境となっております。日本商工会議所による早期景気観測所謂LOBOによれば、メリットが大きいと回答した中小企業は、数パーセント程度に留まっているようです。これら様々な不確定要素の動向に注視していくことが必要だと考えております。できましたら、この見直し作業を行う予定の秋頃には、これら諸問題が良い方向で落ち着いていることを期待しております。

もう一つ大きな問題があります。それは人手不足の問題です。当工業会では、前会長の指導の下、本年2月に、経済産業大臣宛に、特定技能外国人材制度の特定産業分野の見直し、入会手続きの効

率化、安心できる受入制度の運用改善の三本柱である「特定技能外国人材制度に関する要望書」を提出させていただきました。国の方で、前向きに検討されていると聞いております。是非、実現していただきたいと思いますが、我々としても、人手不足に対応する整備された環境づくりをしていくことも重要ではないでしょうか。

このような状況下、工業会としては、昨年のIFPEX2021に続いて、今年11月には、JIMTOF 2022が、東京ビックサイトで開催される予定です。当会員からも、16社が出展予定です。これら展示会がフルードパワー産業の新たな需要分野を開拓しだけたな成果が上がるよう、最大限の努力をさせていただきます。さて、安藤前会長は、SDGsの重要性を説き、この考え方を基本に工業会活動を進めてこられました。一例として、実践的な教育の場を工業会業務に取り入れ、若手技術者を広く育成し人材という面からの継続性を目指す活動を強化しました。今後とも、この路線を踏襲させていただくつもりです。SDGsには、誰一人として取り残さないという精神が掲げられております。私は、SDGsが世界各地で浸透して行けば、今回のような国と国の争いも減ってくるのではないかと、そんな風に考えております。私たち日本フルードパワー工業会も、SDGsを推進することで、世界によりよく貢献できるよう、共に知恵を絞りながら、事業を行ってまいりたいと考えます。

最後になりますが、コロナの終焉によって、安心した企業活動が戻ること、そして、ロシア・ウクライナ紛争が早く終わり平和が戻ること、そして、我が国我が業界の発展と、此處にご臨席の皆様方の益々のご健勝と会員各社のご発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

※経済産業省大臣官房審議官製造局担当福永哲郎の御挨拶

先ほど日本フルードパワー工業会の第23回定期総会が無事終了されたとのこと、おめでとうございます。経済産業省を代表して、一言挨拶申し上げます。

新型コロナによる国民生活や経済への影響はいまだ残っておりますが、水際緩和をはじめ、本格的な経済再開に向けた動きも出つつあります。これも産業界の皆様による、テレワークの推進や時差出勤、職域接種によるワクチン接種の加速など、様々な御協力の賜物であると存じます。この場を借り、改めて御礼申し上げます。

他方で、ここへ来て、ロシアによるウクライナ侵

略で、世界は更なる激動の時代を迎える、分断が進むことが懸念されます。来週のバイデン大統領の訪日以降6月末のG7サミットまで外交シーズンで、新たな国際秩序の構築に向けた議論が行われると思います。



挨拶をする福永審議官

加えて、中国の「ゼロコロナ」政策に伴って生じた上海のロックダウンの影響が懸念されております。16日の上海市の発表では、6月中下旬に正常な生産と生活を全面回復するとの発表がありました。引き続き予断を許さない状況で注視していく必要があります。

コロナ禍でもサプライチェーンの混乱が生じ、世界経済のデカップリングが懸念されましたが、足下むしろ状況は悪化している印象があります。皆様あるいは皆様の取引先におかれても、原材料・エネルギー価格の高騰、更には半導体不足、あるいはそれにとどまらない各種資材不足等で、大きな影響を受けられていないか、心配しております。経済産業省では、中小事業者向けには資金繰り支援策を用意しております。また、「新しい資本主義」実現のためにも、原材料費や人件費等の価格転嫁が重要な課題となっており、毎年3月と9月の「価格交渉促進月間」や取引先との共存共栄に向けた取組を宣言する「パートナーシップ構築宣言」などを通じて、取引環境の改善を進めております。

その他資材の融通に向けて、何かお手伝いできることはないか、絶えず考えております。何かお困りの点がありましたら遠慮なく当省に御相談をいただきたいと存じます。

このように激動する世界の中で、経済産業省でも産業政策の新たな基軸を求めて議論を続けております。

今年の年始会では、カーボンニュートラルに向けたグリーン成長戦略、或いはデジタル庁設立をはじめデジタルトランスフォーメーション促進に取組をお話ししました。

グリーンに関しては、更なる具体化が進んでおります。5月13日には「クリーンエネルギー戦略」の中間とりまとめを行い、ウクライナ危機・電力需給逼迫を踏まえたエネルギー安全保障強化に向けた供給側の政策と併せて、需要側を含めて、例えば水素・アンモニアの活用促進とか、どのような分野で、いつまでに、どういう仕掛けで、どれぐらいの投資を引き出すのか、道筋を示しております。具体的には、報道されたとおり、官民併せて10年間で150兆円、2030年時点での年間約17兆円の投資が必要になると提示しております。デジタルに関しては、貴工業会におかれても、IoT推進部会において、製造業のデジタル化への対応に向けて、標準化の必要性等について議論を進めていると伺っております。今後サプライチェーンの混乱がこれだけ続きますと、またカーボンフットプリントへの対応が求められますと、企業の枠を超えて業種横断で、或いはサプライチェーン全体でデータ連携を行うような取組が出てくることが期待されます。

また、今国会に提出した「経済安全保障推進法」は、先日11日に可決成立いたしました。これは新たな産業政策のツールとなります。この法律により、半導体をはじめとする重要物資のサプライチェーン強靭化のための措置や先端技術の研究開発支援を講じてまいります。貴工業会の皆様からも、日本の産業が世界にとって戦略的に不可欠な存在になるための方策は何か、積極的に意見を賜り、取組を深化させていきたいと考えております。

不確実性が高く、国としても企業としても強かな対応が求められる情勢ですが、経済産業省としては、引き続き産業界の皆様との連携をしながら、我が国製造業の成長のために全力を尽くしていく所存です。

最後になりますが、日本フルードパワー工業会の皆様の益々の御発展を心から祈念して、私の御挨拶とさせていただきます。



懇親会会場風景

第60回 JFPA 親善ゴルフ大会

総会翌日の5月20日(金)に横浜カントリークラブ東コースにおいて標記親善ゴルフ会を開催しました。天候にも恵まれ、8時45分にOUT2組・IN2組で同時にスタートしました。プレーは順調に進行し、優勝は、中西商事㈱、太田執行役員でした。おめでとうございます。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
標準化事業  
~~~~~

油空圧シリンダ分科会

日 時 5月10日(火)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA会議室＋リモート
出席者 渡部主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畠
議 事

委員の交代があり、カヤバ：中西敦宏委員から原貴彦委員に、CKD：上野朝嗣委員から猪飼暢崇委員に交代された。また、委員の新規就任があり、大垣鐵工所：岩砂賢二委員が就任された。

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/FDIS_8133 : FDIS投票→賛成、ISO/DIS_21287 : DIS投票→コメント付き賛成、で投票したこと。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。
次いで、JIS_B8377-2(シリンダの試験・検査－第2部：油圧シリンダ受渡検査)の改正について、対応国際規格(ISO_10100)と比較しながら修正作業を行った。
次回開催：8月2日、機械振興会館＋リモート

空気圧制御技術分科会

日 時 5月18日(水)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA会議室＋リモート
出席者 渡辺主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畠
議 事

委員の交代があり、コガネイ：金子幸夫委員から深澤利夫委員に、TAIYO：渡辺敏之委員から岩崎翔平委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO国際会議について情報共有した。

次いで、空気圧機器と上位機器とのインターフェースに関する用語の制定について、原案の審議及び最終確認を行った。本原案にて工業会規格(JFPS_2026)として制定することにした。

次回開催：別途調整

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 5月24日(火)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA会議室＋リモート
出席者 浅里主査以下4名(うちリモート:4)
事務局 前畠
議 事

委員の交代があり、イハラサイエンス：岩崎宏文委員から日下部晃胤委員に、コガネイ：大場良太郎委員から藤原輝彦委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/CD_11619 : CD投票→コメント付き賛成、で投票したこと。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。

次いで、2/22に開催されたISO/TC131/SC4/WG9国際会議の報告があった。

次いで、JIS_B8381-2(空気圧用継手－第2部：熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手)の改正について、各社の実情を基に規格改正内容についての検討を行った。

次回開催：9月13日、機械振興会館＋リモート

空気圧コンタミ分科会

日 時 5月31日(火)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA会議室＋リモート
出席者 田中主査以下5名(うちリモート:5)
事務局 前畠
議 事

委員の交代があり、コガネイ：藤原輝彦委員から大場良太郎委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、新規投票案件について審議し、ISO_8573-1 : 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO_12500-4 : 定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票することとした。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。

次いで、3/16-17開催のISO/TC118/SC4/WG1国際会議について報告があり情報共有した。

次いで、JIS_B8392-4(圧縮空気－第4部：固体粒子含有量の試験方法)の改正について、対応国際規格(ISO_8573-4)に基づき、修正作業を行った。

次回開催：8月10日、機械振興会館＋リモート

* ISO の動き

- ・ISO 中央事務局より対面あるいはハイブリッド形式にて会議を開催する場合、参加者の投票が必要との通達が出ている。
- ・ISO/TC131 関係の 2022 年の国際会議として、秋季（10月）は日本・姫路での対面会議を計画されていたが、まだ開催困難につき Web 開催となったとのこと。

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第 590 回特許分科会

日 時 5 月 13 日（金）13：30 ~ 15：00

場 所 Web 会議

出席者 瀧幹事以下 4 名

事務局 吉田

議 事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。

4 件については引き続き調査をすることとした。

次回開催：6 月 24 日（金） Web 会議

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

国際委員会

日 時 5 月 25 日（木）13：00 ~ 16：20

場 所 機械振興会館 6-61 号室

及び Web 会議によるハイブリッドタイプ

事務局 大熊

・講演会

全会員を対象としてジェトロ殿より講演を行っていただいた。

講演テーマ：「世界経済の新たな潮流

～脱炭素、人権、経済安全保障
からウクライナ危機まで～」

講演者：日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 部長 若松様

視聴者：35 名



Web による講演会の状況

・国際委員会

- ①各社における国内及び海外での市場状況
 - ②講演会に対する感想
- について意見交換を行った。



ハイブリッドタイプによる国際委員会の状況

次回開催時期：9 月下旬予定

~~~~~

#### その他事業

~~~~~

2022 年度 第 1 回目 基礎講座(初級)

2022 年度第 1 回目の油圧、空気圧基礎講座(座学、製品実習)を実施した。参加者は総勢 30 名が參加した。

以下に油圧と空気圧における基礎講座の実施状況を示す。

油圧基礎講座(初級)

出席者 参加企業 11 社 14 名

【座学】

日時 2022 年 5 月 10 日(火) 13:00~16:30

場所 ・機械振興会館 地下3階 研修室1

・Web接続 (Micro Soft Teams)

講師 油研工業(株) 日野様

事務局 大熊

会場で講習会を行うと同時にその状況を Teams にて Web 配信した。

① 油圧の基礎

- ・油圧とは ・パスカルの原理 ・油圧装置の作動原理と基本制御、など

② 代表的な油圧機器の作動原理と活用法

- ・方向制御弁 (電磁切換弁、電磁パイロット切換弁、チェック弁、パイロット操作チェック弁)
- ・圧力制御弁 (リリーフ弁、減圧弁、カウンターバランス弁、シーケンス弁)
- ・流量制御弁 (絞り弁、流量調整弁)
- ・油圧ポンプ (ギヤ、ベーン、ピストン)
- ・油圧アクチュエータ (油圧シリンダ、他)

後日、油圧基礎講座への説明内容についてアンケート調査を行い、80%以上理解できたとの回答が、参加者全体の70%以上であった。



実施会場の状況



Webセミナー配信情況

【製品実習】

日時 2022年5月13日(金) 13:30~16:30

場所 川崎重工業(株) 精密機械・ロボット

カンパニー 研修センター(西神戸工場内)

講師 川崎重工業(株) 原田様他 7名

事務局 大熊

製品内部の構造を確認しながら、分解及び組み立てを行った。対象製品は以下の通り。

- ・斜板ポンプ
- ・ギヤポンプ
- ・油圧電磁弁
- ・油圧シリンダ

特に斜板ポンプについては製品の構造上はめ合いの精度が高く、組立の段階で苦労している人が多く、製品精度の高さを実感できたと思われる。

また各製品の組立ての段階で、Oリングシールを傷つけやすく製品修理の際の注意すべきポイントを学べたと思う。



製品実習前説明



斜板ポンプ実習状況



油圧電磁弁実習状況



油圧シリンダ実習状況

空気圧基礎講座(初級)

出席者 参加企業 8 社 15 名

【座学】

日時 2022 年 5 月 20 日(金) 13:00~16:30

場所 • 機械振興会館 地下 3 階 研修室 1
• Web 接続 (Micro Soft Teams)

講師 SMC(株) 市瀬 様

事務局 大熊

会場で講習会を行うと同時にその状況を Teams にて Web 配信した。

- ・空気圧とは
- ・空気圧システムの基本構成
- ・圧縮空気について
- ・圧縮空気清浄化機器
- ・配管と接続
- ・管接手
- ・空気圧調整ユニット
- ・アクチュエータ
- ・速度制御弁
- ・方向制御弁



実施会場の状況



Web セミナー配信情況

後日、空気基礎講座への説明内容についてアンケート調査を行い、80%以上理解できたとの回答が、参加者全体の 70%以上であった。

【製品実習】

日時 2022 年 5 月 24 日(火) 13:00~16:20

場所 機械振興会館 B3-2 会議室

講師 日本フルードパワー工業会 大熊

事務局 大熊

空気圧トレーニングキットを使用し、指定された空気圧回路において、各空気圧機器にどのような現象が発生するのか、参加者が体験した。

各項目は以下の通り。

- ・残圧排気弁
- ・シリンダの速度制御
- ・シリンダのエアクッション
- ・サイレンサの消音効果
- ・2位置シングル・ダブルソレノイド
- ・クローズドセンタ
 中間停止・残圧排気・再起動
- ・エキゾーストセンタ
 中間停止・飛出し防止・停止制度
- ・プレッシャーセンタ
 両加圧回路・非常停止と再起動・
 残圧排気

製品実習開始時、参加者は空気圧回路図を読むことができなかつたが、各製品の役割と使用方法を理解する中、製品実習終了時には全員が空気圧回路を読めるようになった。

また、製品を手に取り自分自身で回路を作り作動させることにより、短期間で空気圧回路を理解することができていた。



製品実習実施状況 2



製品実習実施状況 3



製品実習実施状況 1

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

※2022年

- ☆11月24日（木）西日本支部総会&本部理事会
- ☆11月25日（金）西日本支部総会懇親ゴルフ会
- ☆12月21日（水）政策委員会

※2023年

- ☆1月11日（水）理事会・年始会
- ☆3月24日（金）政策委員会
- ☆4月21日（金）理事会・懇親会
- ☆5月18日（木）定時総会・懇親会
- ☆5月19日（金）JFPA ゴルフ懇親会

~~~~~

5月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。（敬称略）

~~~~~

(標準化事業)

〃 今野英俊 (コガネイ)

油空圧シリンドラ分科会

開催日 5月 10 日(火)

出席者

主査 渡部文雄 (日本シリンドラ共同事業)
委員 田村健 (SMC)
〃 塩田浩司 (コガネイ)
〃 猪飼暢崇 (CKD)
〃 東川智信 (TAIYO)
〃 山田真の介 (TAIYO)

空気圧制御技術分科会

開催日 5月 18 日(水)

主査 渡辺敏之 (TAIYO)
委員
〃 楊春明 (SMC)
〃 金子幸夫 (コガネイ)
〃 深澤利夫 (コガネイ)
〃 米田充孝 (CKD)
〃 岩崎翔平 (TAIYO)

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 5月 24 日(火)

出席者

主査 浅里信之 (ニッタ)
委員 岩崎宏文 (イハラサイエンス)
〃 日下部晃胤 (イハラサイエンス)
〃 高梨暁人 (SMC)
〃 藤原輝彦 (コガネイ)
〃 細谷映之 (アオイ)
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

空気圧コンタミ分科会

開催日 5月 31 日(火)

出席者

主査 田中崇行 (SMC)
委員 三井康夫 (オリオン機械)
〃 大場良太郎 (コガネイ)
〃 大嶽康行 (CKD)
オブザーバ 前田卓郎 (SMC)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第 590 回特許分科会

開催日 5月 13 日(金)

出席者

幹事 瀧 芳久 (CKD)
委員 井野雅康 (SMC)
〃 安田善仁 (甲南電機)

(国際交流事業)

国際委員会

開催日 5月 26 日(木)

出席者
委員長 新開 諭 (甲南電機)
副委員長 澤田啓支郎 (タイヨーインタナショナル)
委員 石渡雅史 (SMC)
〃 村田育子 (カヤバ)
〃 山崎真人 (廣瀬バルブ)
〃 延澤博幸 (不二越)
〃 坂宮 篤 (油研工業)
〃 河口 悟 (CKD)
〃 鐘ヶ江拓二 (東京計器)
〃 宮下晃一 (経産省)

(その他事業)

油圧基礎講座(初級)座学・製品実習

開催日(座学) 5月 10 日(火)

講師 日野武彦 (油研工業)

開催日(製品実習) 5月 13 日(金)

講師 原田隆史 (川崎重工業)

【会社名のみ】

参加企業 ASK (正会員)
〃 油研工業 (正会員)
〃 中村工機 (正会員)
〃 山本水圧工業所(正会員)
〃 ダイキン工業(正会員)
〃 島津製作所(正会員)
〃 日本伸銅 (賛助会員)
〃 ニッタ (賛助会員)
〃 日工産業 (賛助会員)
〃 オーツカ (賛助会員)
〃 第一カッター (一般)

空気圧基礎講座(初級)座学・製品実習

開催日(座学) 5月 20 日(金)

講師 市瀬恒太 (SMC)

開催日(製品実習) 5月 24 日(火) 25 日(水)

講師 大熊正博 (日本フルト・パワー工業会)

【会社名のみ】

参加企業 イハラサイエンス (正会員)
〃 アズビル TACO(正会員)
〃 オーツカ (賛助会員)
〃 第一カッター (一般)
〃 エドワーズ(一般)
〃 浜井産業 (一般)
〃 日立ニコトランスマッジョン(一般)

~~~~~

## 月間行事概要

~~~~~

<5月>

10日(火)

- ・標準化(委)油空圧シリンドラ分科会
- ・油圧基礎講座 座学

13日(金)

- ・油圧基礎講座 製品実習
- ・技術(委)空気圧部会第590回特許分科会

18日(水)

- ・標準化(委)空気圧制御技術分科会

20日(金)

- ・空気圧基礎講座 座学

24日(火)

- ・標準化(委)空気圧継手・チューブ分科会
- ・空気圧基礎講座 製品実習

25日(水)

- ・空気圧基礎講座 製品実習

26日(木)

- ・国際委員会

31日(火)

- ・標準化(委)空気圧コンタミ分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
